



平成26年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 松屋

コード番号 8237 URL <http://www.matsuya.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 秋田 正紀

問合せ先責任者 (役職名) 総務部IR室担当課長 (氏名) 白石 晴久

TEL 03-3567-1211

四半期報告書提出予定日 平成26年1月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第3四半期の連結業績(平成25年3月1日～平成25年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|-----|------|-------|------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 26年2月期第3四半期 | 53,374 | 3.9 | 642 | 79.8 | 686 | 74.6 | 502 | 278.7 |
| 25年2月期第3四半期 | 51,354 | 0.9 | 357 | 793.8 | 393 | 386.8 | 132 | △96.4 |

(注) 包括利益 26年2月期第3四半期 1,404百万円 (562.6%) 25年2月期第3四半期 211百万円 (△92.5%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年2月期第3四半期 | 9.48 | — |
| 25年2月期第3四半期 | 2.50 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 26年2月期第3四半期 | 46,343 | 15,618 | 33.4 | 291.90 |
| 25年2月期 | 43,334 | 14,216 | 32.4 | 265.12 |

(参考) 自己資本 26年2月期第3四半期 15,464百万円 25年2月期 14,045百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年2月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 26年2月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 26年2月期(予想) | — | — | — | — | — |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成26年2月期の期末及び合計の配当金額は未定であります。

3. 平成26年2月期の連結業績予想(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|------|-------|------|-------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 74,500 | 4.1 | 1,400 | 33.6 | 1,300 | 19.8 | 1,000 | 66.7 | 18.88 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区分することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|--------------|----------|--------------|
| 26年2月期3Q | 53,289,640 株 | 25年2月期 | 53,289,640 株 |
| 26年2月期3Q | 311,599 株 | 25年2月期 | 311,537 株 |
| 26年2月期3Q | 52,978,061 株 | 25年2月期3Q | 52,980,346 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | | |
|-----|--------------------------|----|
| 1. | 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) | 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) | 連結財政状態に関する定性的情報 | 3 |
| (3) | 連結業績予想に関する定性的情報 | 3 |
| 2. | サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 4 |
| (1) | 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 4 |
| (2) | 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 4 |
| (3) | 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 4 |
| 3. | 四半期連結財務諸表 | 5 |
| (1) | 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) | 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) | 継続企業の前提に関する注記 | 9 |
| (4) | セグメント情報等 | 9 |
| (5) | 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期(平成25年3月1日～平成25年11月30日)におけるわが国経済は、政府による各種経済政策の効果等により、企業業績や個人消費にも改善の動きがみられました。

百貨店業界におきましても、株価上昇に伴う資産効果等を背景に、高額品を中心に堅調な動きが継続し、東京地区百貨店売上高はこの間、概ね前年実績を上回って推移しております。

こうした状況の中、当社グループでは当期を初年度とする新たな「中期経営計画」(2013～2015年度)を策定し、その基本方針に沿った諸施策を着実に実行することにより、業績の向上に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は53,374百万円と前年同四半期に比べ2,019百万円(+3.9%)の増収となり、営業利益は642百万円と前年同四半期に比べ284百万円(+79.8%)の増益、経常利益は686百万円と前年同四半期に比べ293百万円(+74.6%)の増益、四半期純利益は502百万円と前年同四半期に比べ369百万円(+278.7%)の増益となりました。

<百貨店業>

百貨店業の銀座店では、新たな中期経営計画の基本方針の下、「GINZA スペシャルティストア」の更なる進化を図るため大規模な改装を実施し、9月14日にグランドリニューアルいたしました。この度の改装は、2009年度より計画的に行ってきた改装の総仕上げという位置づけにあり、この改装により銀座店のコア・コンピタンスとなる2階のインターナショナルブティックのフロアが完成するとともに、「ルイ・ヴィトン」も3層となり日本最大級のフルカテゴリーショップとして生まれ変わりました。また、3階・4階の婦人フロアにおいても大幅な改編・改装を実施することにより品揃えや買廻りの強化を図りました。さらに、他部門におきましても、春にコンサルティング販売を強化したワイン売場「グルマルシェ ヴァン」を開設したほか、6月中旬から9月末まで、主に女性をターゲットとした「美しくなるビアガーデン」を屋上で展開するなど、売場の活性化を図るとともに、新たな収益獲得の取り組みにも努めてまいりました。一方、催事におきましても、「スヌーピー×日本の匠展」や「エヴァンゲリオン展」など独自性と話題性のある大型文化催事を行うことにより集客力を高め、売上の向上に努めてまいりました。

浅草店では、「EKIMISE」の開業によって変化したお客様とその需要を取り込むため、春に1階和洋菓子売場の改編・拡大を行い「浅草すい一つ小町」を開設するなど、業績の向上に尽力してまいりました。

以上の結果、百貨店業の売上高は46,193百万円と前年同四半期に比べ2,105百万円(+4.8%)の増収となり、営業利益は562百万円と前年同四半期に比べ258百万円(+84.9%)の増益となりました。

<飲食業>

飲食業の主力となる婚礼宴会事業では、婚礼組数の獲得数向上に取り組んでまいりましたが、前年実績を上回ることはできませんでした。また、イタリアンレストラン事業では法人需要の回復等による増収があったものの、前期に㈱アターブルグリーンレストランが連結対象から除外されたことによる減収等もあり、飲食業全体の売上高は前年実績を下回りました。一方で、原価の低減や人件費等販売管理費の圧縮に尽力いたしました。

以上の結果、飲食業の売上高は3,862百万円と前年同四半期に比べ407百万円(△9.5%)の減収となり、営業損失は84百万円と前年同四半期に比べ28百万円の改善となりました。

<ビル総合サービス及び広告業>

ビル総合サービス及び広告業におきましては、内装工事、宣伝広告部門が好調に推移したことから売上高は前年実績を上回りましたが、受注工事に伴う原価の増加等により営業利益は減少いたしました。

以上の結果、ビル総合サービス及び広告業の売上高は4,033百万円と前年同四半期に比べ150百万円(+3.9%)の増収となり、営業利益は31百万円と前年同四半期に比べ32百万円(△50.8%)の減益となりました。

<輸入商品販売業>

輸入商品販売業の(株)スキヤンデックスの主力ブランドである「イッタラ」(フィンランドの食器)では、4月に新規出店した「酒々井プレミアム・アウトレット」と「グランフロント大阪」が想定を上回って推移いたしました。また、新規ブランドである「ロールストランド」(スウェーデンの陶器)や「レ・クリント」(デンマークの照明器具)も順調に売上を伸ばし、売上高、営業利益ともに前年実績を上回りました。

以上の結果、輸入商品販売業の売上高は1,229百万円と前年同四半期に比べ241百万円(+24.4%)の増収となり、営業利益は83百万円と前年同四半期に比べ27百万円(+49.6%)の増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末に比べ、3,008百万円増加し46,343百万円となりました。これは主に建物及び構築物802百万円の増加や投資有価証券1,279百万円の増加等によるものであります。負債合計は前連結会計年度末に比べ、1,606百万円増加し30,724百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金695百万円の増加や設備支払手形741百万円の増加等によるものであります。純資産合計は利益剰余金502百万円の増加やその他有価証券評価差額金886百万円の増加等により、1,402百万円増加し15,618百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年2月期の業績予想につきましては、平成25年10月10日付の「平成26年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」における業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社の連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年3月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成25年2月28日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月30日) |
|-------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,348 | 2,319 |
| 受取手形及び売掛金 | 4,465 | 5,238 |
| たな卸資産 | 2,361 | 2,661 |
| その他 | 1,097 | 955 |
| 貸倒引当金 | △19 | △23 |
| 流動資産合計 | 10,253 | 11,152 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 10,416 | 11,218 |
| 土地 | 14,093 | 14,093 |
| その他(純額) | 398 | 400 |
| 有形固定資産合計 | 24,909 | 25,713 |
| 無形固定資産 | | |
| | 484 | 426 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 5,560 | 6,839 |
| その他 | 2,163 | 2,245 |
| 貸倒引当金 | △37 | △33 |
| 投資その他の資産合計 | 7,686 | 9,051 |
| 固定資産合計 | 33,080 | 35,191 |
| 資産合計 | 43,334 | 46,343 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 6,534 | 7,229 |
| 短期借入金 | 9,178 | 9,647 |
| 未払法人税等 | 69 | 48 |
| 賞与引当金 | 117 | 111 |
| 商品券等回収損失引当金 | 384 | 379 |
| ポイント引当金 | 77 | 82 |
| その他 | 4,438 | 5,595 |
| 流動負債合計 | 20,799 | 23,094 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 5,855 | 4,548 |
| 退職給付引当金 | 318 | 384 |
| 環境対策引当金 | 29 | 29 |
| その他 | 2,115 | 2,668 |
| 固定負債合計 | 8,319 | 7,630 |
| 負債合計 | 29,118 | 30,724 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成25年2月28日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月30日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 7,132 | 7,132 |
| 資本剰余金 | 5,639 | 5,639 |
| 利益剰余金 | 846 | 1,348 |
| 自己株式 | △427 | △427 |
| 株主資本合計 | 13,191 | 13,693 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 886 | 1,772 |
| 繰延ヘッジ損益 | △31 | △1 |
| その他の包括利益累計額合計 | 854 | 1,771 |
| 少数株主持分 | 170 | 154 |
| 純資産合計 | 14,216 | 15,618 |
| 負債純資産合計 | 43,334 | 46,343 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日) |
|-------------------|----------------------------------------------|----------------------------------------------|
| 売上高 | 51,354 | 53,374 |
| 売上原価 | 37,875 | 39,432 |
| 売上総利益 | 13,479 | 13,942 |
| 販売費及び一般管理費 | 13,121 | 13,300 |
| 営業利益 | 357 | 642 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 3 | 3 |
| 受取配当金 | 77 | 84 |
| 債務勘定整理益 | 159 | 147 |
| 受取協賛金 | 47 | 10 |
| その他 | 68 | 81 |
| 営業外収益合計 | 357 | 328 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 180 | 161 |
| 商品券等回収損失引当金繰入額 | 104 | 102 |
| その他 | 36 | 20 |
| 営業外費用合計 | 321 | 283 |
| 経常利益 | 393 | 686 |
| 特別利益 | | |
| 関係会社株式売却益 | 21 | — |
| 改装協力金 | — | 436 |
| 特別利益合計 | 21 | 436 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 213 | 548 |
| 投資有価証券評価損 | 6 | — |
| その他 | 8 | 9 |
| 特別損失合計 | 229 | 557 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 185 | 565 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 44 | 84 |
| 法人税等調整額 | △46 | △5 |
| 法人税等合計 | △1 | 78 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 186 | 487 |
| 少数株主利益又は少数株主損失(△) | 53 | △15 |
| 四半期純利益 | 132 | 502 |

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日) |
|------------------|----------------------------------------------|----------------------------------------------|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 186 | 487 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △1 | 871 |
| 繰延ヘッジ損益 | 21 | 31 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 5 | 14 |
| その他の包括利益合計 | 25 | 917 |
| 四半期包括利益 | 211 | 1,404 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 157 | 1,418 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 54 | △14 |

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年3月1日 至 平成24年11月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3 |
|-----------------------|---------|-------|-----------------------|-------------|--------|-------------|--------|-------------|-------------------------------|
| | 百貨店業 | 飲食業 | ビル総合 サービス及び 広告業 | 輸入商品 販売業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 44,060 | 4,183 | 1,899 | 948 | 51,091 | 263 | 51,354 | — | 51,354 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 27 | 85 | 1,983 | 39 | 2,137 | 689 | 2,826 | △2,826 | — |
| 計 | 44,087 | 4,269 | 3,882 | 988 | 53,228 | 952 | 54,181 | △2,826 | 51,354 |
| セグメント利益又は損失(△) | 304 | △113 | 63 | 56 | 310 | 44 | 354 | 2 | 357 |

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、マーケティング情報提供、用度品・事務用品の納入、OA機器類のリース、保険代理業、商品販売の取次ぎ、商品検査業務等が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額2百万円は、セグメント間取引消去等であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3 |
|-----------------------|---------|-------|-----------------------|-------------|--------|-------------|--------|-------------|-------------------------------|
| | 百貨店業 | 飲食業 | ビル総合 サービス及び 広告業 | 輸入商品 販売業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 46,166 | 3,785 | 1,956 | 1,183 | 53,092 | 281 | 53,374 | — | 53,374 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 26 | 76 | 2,076 | 45 | 2,225 | 581 | 2,806 | △2,806 | — |
| 計 | 46,193 | 3,862 | 4,033 | 1,229 | 55,318 | 862 | 56,181 | △2,806 | 53,374 |
| セグメント利益又は損失(△) | 562 | △84 | 31 | 83 | 592 | 68 | 660 | △18 | 642 |

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、用度品・事務用品の納入、OA機器類のリース、保険代理業、商品販売の取次ぎ、商品検査業務等が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△18百万円は、セグメント間取引消去等であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの名称変更)

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントのうち「輸入商品卸売業」を「輸入商品販売業」に名称変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの名称で記載しております。

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」に記載のとおり、当社の連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より平成25年3月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、百貨店業以外の事業において減価償却の方法を変更しておりますが、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益又は損失(△)への影響は軽微であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。